

まちの話題

1月10日、西多久町を考える会（会長：飯守康洋）が主催し、西多久町の宝満山公園南側で鬼火焚き、西多久公民館を会場に七草粥会と女山大根まつり、女山大根の品評会が開催されました。夜明け前の早朝から行われた鬼火焚きでは、前日に組み立てられた3mを超すやぐらに飯守会長が点火。訪れた来場者は暖かな火にあたり無病息災と家内安全を祈りました。

▶ 煌々と燃え上がる無病息災祈願の鬼火焚きのやぐら



その後、七草粥会・女山大根まつりでは、西多久町婦人会、幡船の里会員が準備した七草粥と幡船汁、女山大根をつかったふろふき大根やなますなどが500円で提供され、参加者は今年一年の健康を祈って郷土料理に舌鼓を打ちました。

西多久町内から参加した長野洋子さんは「町内でとれた野菜たっぷりで色合いも綺麗です。朝からヘルシーな食事を楽しめました」と笑顔で話しました。



◀ 一年の健康を祈って用意された料理を堪能する参加者

▶ 品評会に展示された女山大根



無病息災と健康を願い、郷土料理に舌鼓

西多久町鬼火焚き 七草粥会・女山大根まつり

▶ 力走する競技者（小学生男子・女子）の様子



第52回多久市成人祝賀ロードレース大会（多久市・多久市教育委員会、（一財）多久市体育協会主催）が、1月12日成人の日に多久市陸上競技場周辺で開催され、総勢454人が、日ごろ鍛えた健脚を競いました。天候にも恵まれた今大会は、会場や沿道にも多くの方が応援に駆けつけ、力走する選手に声援を送っていました。

毎年恒例となった豚汁の振る舞いは、商工会青年部等有志が1,000杯分を準備。11回目となる“おもてなし”で、今年も選手や応援に駆けつけた参加者をあたたかさで美味しく魅了しました。

また3年前からは、地域の女性有志7人が、多久の美味しい新米のおにぎりを振る舞っており、今回も約700個を提供。さらには、多久のおいしいみかんを食べさせたいとコンテナ5ケースが提供され、参加者と来場者をもてなしました。



◀ 競技後に豚汁を受け取る参加者

各部門の優勝者は以下のとおりです。（敬称略）

- 一般男子（10km） 福田 憲互（小城市体育協会）
- 一般女子（3km） 佐々木麻衣（多久高校）
- 40歳以上男子（5km） 秋丸 直俊（小城市体育協会）
- 中学生男子（5km） 松本 叶夢（北波多I.R.C）
- 中学生女子（3km） 武富 沙輝（多久スポーツピアRC）
- 小学生男子（2km） 石丸 瑛二（北波多I.R.C）
- 小学生女子（2km） 田中 美緒（吉田球友）

総勢454人が、日ごろ鍛えた健脚を競う

第52回多久市成人祝賀ロードレース大会

1/18 Sun.

市民の安全・安心の暮らしのために！



防火意識の啓発と消防団員の士気高揚を図るべく多久市消防団出初式を開催しました。

消防署南グラウンドでは、団員は、観閲、機械器具点検を受け、統率のとれた凛とした姿で分列行進を披露。中央公民館では、市長や団長、来賓から、訓示や祝辞が述べられ、優良団員、永年勤続者の表彰を行いました。また中央校少年消防クラブによる演奏、さくらんぼ保育園幼年消防クラブによる合唱で式典に花を添えました。

式典の後、羽佐間の牛津川河川敷に場所を移し、一斉放水を行い、出初式を締めくくりました。

1/13 Tue. ~ 1/23 Fri.

多久市好齢大学院絵手紙科・習字科作品展



市役所1階市民ホールを会場に、多久市好齢大学院絵手紙科・習字科（講師：小野慧子）修了生のみなさんが、生きがいがづくりの一環として昨年7月から12月までの間に制作した作品およそ200点の作品展が開催されました。

四季折々の情景を描いた絵手紙や、書など温かみのある力作揃いの作品に来場者は足を止めて見とれていました。

講師の小野さんは「大学院には90歳の生徒さんもおり、みなさん熱心で楽しく取り組んでいます」と学科の様子を話しました。